

貴社より頂戴しましたご寄付の活用につきまして、以下のとおりご報告いたします。

1. オレンジハウス修繕

(1) 概要

弊団体は、2011年の東日本大震災後に宮城県山元町で様々な支援活動をいたしました。沿岸部の全ての地区が津波による大きな被害を受け、花釜区では住民が集う集会所が流失しました。「みんなで集まれる場所がほしい」という住民の声を受け、2013年12月にトレーラーハウスを設置しました。住民からは「オレンジハウス」の愛称で親しまれ、地域の女性たちによる手芸活動や地区の班長会議など幅広い活動に使われる場所となりました。同ハウスは2015年4月に地元の女性グループ「山元タイム」へ譲渡しましたが、それまでに延べ1,800人が利用し、その後も活発に利用され、コロナ禍の現在でも毎日開放しており、月に約120人程度の地域住民が集う場となっています。設置からすでに7年経ち、建物の経年劣化も見られるようになっていましたが、これまでは住民が自力で修理をしてきました。

(2) 活動内容

2021年2月13日に発生した福島県沖の地震の影響により、トレーラーハウスの外部に設置していた木製スロープやデッキの土台がずれ、床板も経年劣化で脆くなっていた箇所が地震によって外れやすくなってしまいました。同ハウスの利用者は高齢者が多く、中には歩行が困難な人もおり、利用者の安全面が心配されたため、スロープとデッキの修理を行いました。

【修理前】



土台のずれ（2021年2月撮影、以下同様）



床板の劣化



経年劣化でデッキの床板がもろくなったため、住民が自分たちで修理していた

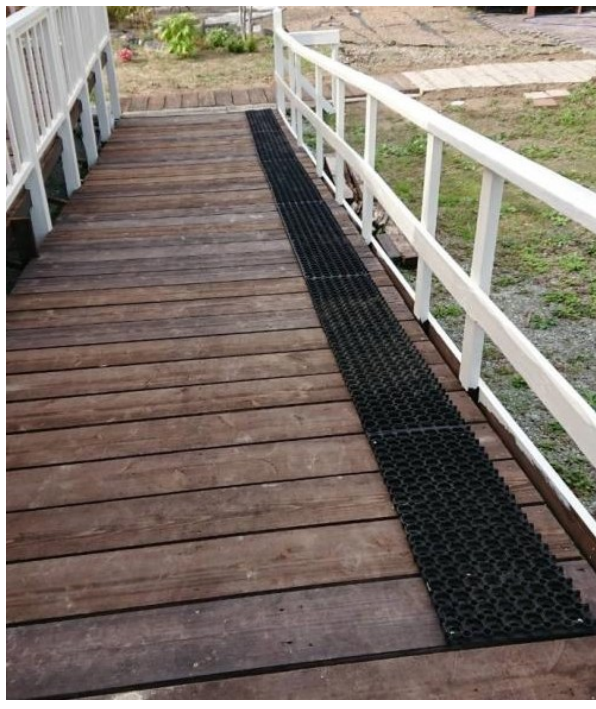
【修理後】



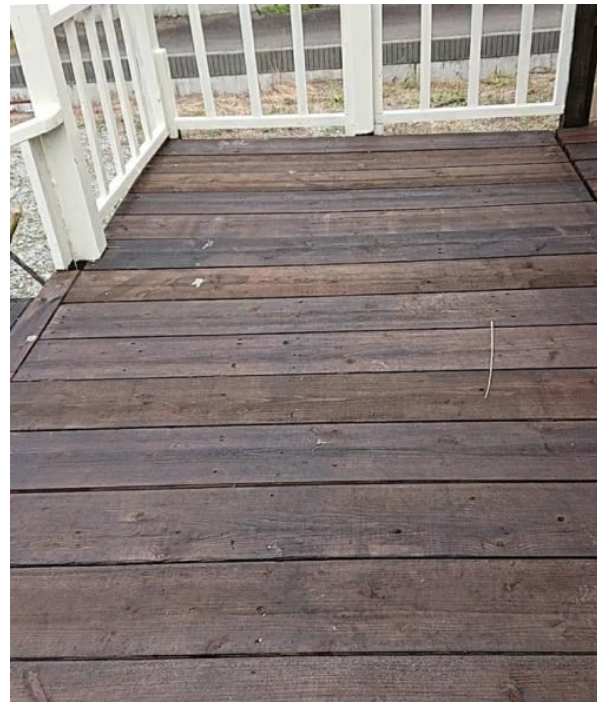
スロープの板を外して土台部分の修理と床板張り替えを準備（2021年9月撮影）



デッキとスロープの修理が完成（2021年10月撮影、以下同様）



スロープの新しい床板と滑り止め



デッキの新しい床板



高齢者も安心して利用できるようになった

(3) 支出

修繕費の詳細

項目	詳細	計 (円)
資材費	木材	198,330
消耗品費	ビス、塗料等	52,470
旅費交通費	高速代、ガソリン代	46,200
人件費	人件費	88,000
合計金額		385,000

LIGUNA 様からのご寄付は、全体費用 385,000 円のうち 350,000 円分に充てさせていただきました (残りの 35,000 円は住民が自己負担しました)。

(4) 住民からの声

・山元タイム代表山下さん

「オレンジハウスを利用して7年、地域の集会所に始まり山元タイム、ゆずの会、たくさんの住民の方が利用しています。メンテナンスを少しずつしながら長く大切に使用していきたいと思います。」

・利用者の方々からの声

「スロープが新しくなって安心して利用できます。」

「近所なので歩いて来られるし、みんなでパッチワークするのが楽しい！集まれる場所が

あって幸せです。』

「コロナの影響で集まる回数も減って寂しいですが、集まる日を楽しみに家で手芸しています。」

2. 人吉市の被災地域にある「ひだまりカフェ」継続のための活動

(1) 概要

令和2年7月豪雨では、人吉市だけで4,000軒以上の家が洪水被害を受け、その8割以上が床上1メートルを超える浸水被害でした。ADRA Japanは、地元の建築士が立ち上げた「アーキレスキュー人吉球磨」という団体と協働し、被災した家屋の復旧のお手伝いをしてきました。活動の一環として、特に被害が多かった人吉市の上薩摩瀬町にコンテナハウスを設置し、「ひだまりカフェ」と称して地域住民の拠り所となる場所として開放していました。ADRA Japanは2021年6月末に現場へのスタッフ派遣を終えましたが、同町周辺は市内でも特に被災世帯が集中しており、被災した公民館の復旧も大幅に遅れていることから、住民からの要望を踏まえ、コンテナハウス設置を継続しました。町内会員が寄り合いのために利用した他、ADRA Japanと連携して活動していた他の地元団体が同ハウスを利用して、様々な活動を行いました。

(2) 活動



地域の子どもたちの宿題をサポートする寺子屋



地元住民による竹とんぼ作りワークショップ



洪水で被災した家屋の清掃を続けているボランティアさんたちのお昼休憩



ボランティアとコンテナハウス周辺の清掃活動



集まったボランティアと一緒に、被災した神社の清掃活動を実施

(3) 支出

コンテナハウス維持経費

項目	詳細	計 (円)
コンテナレンタル費	75,000 円×5 ヶ月	375,000
光熱費など	6,000 円×5 ヶ月	30,000
合計金額		405,000

LIGUNA 様からのご寄付は、2021 年 7 月～11 月（5 ヶ月）の維持経費合計 405,000 円のうち 355,793 円分に充てさせていただきました（残りの 49,207 円は ADRA Japan の自己資金で対応しました）。

(4) 住民の声

・町内会長の声

「洪水被害にあった町内会の集会所の修理が、計画のようには進まず、工事開始の目処もまだ立っていません。町内の人たちが集まる場所があって、とても助かっています。」

・住民の声

「コロナもあったから、立ち寄るのも遠慮してたけど、誰かがいてくれる、と感じるだけで、とても心強いです」

「町内は、引っ越した人も大分いるけど、自分はここに住むことを決めました。町内のことを話したり、何かで集まったりする場所があると安心できます。」

報告は以上でございます。心温まるご支援を心から感謝いたします。